

信州 ESD コンソーシアム 令和3年度成果発表&交流会

～実践記録～

1. 学校名：山ノ内町立山ノ内中学校

2. 対象：

(学年・人数)

1 学年・77名 (8名)
2 学年・85名 (13名)
3 学年・73名

※網掛け・ゴシック体が発表&交流会参加生徒

3. 活動内容

(1) 活動名

地域活性化のために自分たちができることをやろう

(2) 活動の目標

本校では、ESD を「自分たちの山ノ内町を持続的に発展させていくためには何をすべきか」ととらえ、全教育活動の中核に据えている。町の抱える諸問題に対し、中学生として、また卒業してからも、何ができるのかを考え、地域や町当局に発信し、自らもできることをやろうとする中学生を育成することが目標である。

(3) ESD の視点、育成する資質・能力

①構成概念

- | | |
|---|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 多様性 (多種多様な現象が起きていること) | <input type="checkbox"/> 公平性 (一人ひとりを大切に) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 相互性 (関わりあっている) | <input type="checkbox"/> 連携性 (互いに連携・協力すること) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 有限性 (限りがある) | <input type="checkbox"/> 責任制 (責任を持って) |
| <input type="checkbox"/> その他 () | |

②育成する資質・能力

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 批判的に考える力 | <input type="checkbox"/> 他者と協力する力 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 未来像を予測して計画を立てる力 | <input checked="" type="checkbox"/> つながりを尊重する態度 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 多面的・総合的に考える力 | <input type="checkbox"/> 進んで参加する態度 |
| <input type="checkbox"/> コミュニケーションを行う力 | |

(4) 関連する SDG s

- 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
11 住み続けられるまちづくりを
12 つくる責任つかう責任



(5) 活動の内容

- 1 学年：志賀高原研修旅行 (ユネスコエコパークでの探究的な学び) ➤ 魅力の発見
2 学年：草津研修旅行 (課題解決に向けた探究的な学び) ➤ 魅力の比較
3 学年：修学旅行・中学生が夢みる町づくり討論会 (学んだことを提案・実行力) ➤ 魅力の発信

4. 活動の成果

各学年での取り組みによって、生徒自身が問いをもち、その解決に向けて調べ、探究していくといった学習活動のサイクルが構築されてきている。その結果、自然と「地域活性化のために何かやろう！」といった意識へと繋がり、主体的な活動として深まってきている。

今後は、昨年度より本校でも大切にしている『ESD カレンダー』をもとにした、各教科における学びも位置づけ、より日常の中で生徒が考えたり、グループで深めあったりしていけるよう、検討していく。

5. 指導方法・体制の工夫

校内研究グループと連携しながら、教科と ESD の繋がりの可能性を今後も探していきたい。(負担感のないように ESD に関わる授業実践を公開し、研修していく。※今年度は1学期と2学期の2回、金沢大学の加藤隆弘先生を招いて研修を行った。)